

2026年
8月号
横浜市
衛生研究所

感染症に 気をつけよう

衛研インスタ
フォローをお願いします



今月の感染症流行状況

注意
今後流行の可能性がある

流行中

大流行

疾患名	流行状況	説明
手足口病	流行中	乳幼児を中心に流行、大人も感染するので注意 7月下旬から減少するも、未だに流行警報レベル
腸管出血性大腸菌 感染症	注意 !	無症状の場合、気づかずに感染源となることもあり 日頃から手洗いなど、しっかり感染予防を

今月のトピック 手足口病

📍 保育施設や幼稚園など、子どもが集団生活をしている施設では特に注意が必要です。

手・足・口の中に発しんは
ありませんか？



01 手足口病とは

発疹

感染してから3～5日後に、
手・足・口の中に2～3ミリの
水疱を伴う発しんが現れます

発熱

多くの場合38度以下です

※多くの発症者は、発症してから3～7日で治癒します。
まれに髄膜炎、脳炎などの重い合併症を伴うことがあります。

02 感染経路

- ウイルスが含まれるしぶきを吸い込む
- ウイルスがついた手で口や目を触る
- 便と一緒に排出されたウイルスが口に入る



03 予防方法

流水と石けんで手洗い
アルコールは効きにくい



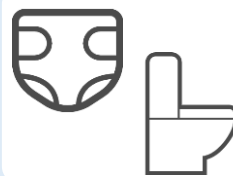
こまめな手洗い

感染している人との
共用を避ける



タオルを共用しない

患者の便には比較的長い間
ウイルスが排出される



手袋を使うなどの
排せつ物の適切な処理

感染症対策とあわせて熱中症対策も！

横浜市感染症情報センター8月14日発行



横浜メディカル
ダッシュボード